

東洋療法教育専攻科 論文紹介

うらやま ひさつぐ
浦山 久嗣 先生 (専任教員)

【研究発表・論文】

平成4年2月	研究発表「太淵穴の位置について」 (第7回経絡治療学会学術総会福岡大会)
平成5年1月	論文「『靈枢経』本輸篇の研究」 (『黄帝内経版本叢刊』黄帝内経研究論文集所収、オリエント出版社刊)
平成5年3月	研究発表「『外台秘要方』卷三十九について」 (第1回日本鍼灸臨床文献学会学術大会；現「日本鍼灸史学会」)
平成5年11月	論文「『靈枢経』本輸篇の研究Ⅱ—経脉篇を巡って—」 (『黄帝内経注解叢刊』黄帝内経研究論文集Ⅱ所収、オリエント出版社)
平成6年1月	研究発表「背部俞穴における取穴基準の文献学的考察」 (第9回経絡治療学会学術総会宮城大会)
平成6年3月	研究発表「『難経集注』における呂注の位置について」 (第2回日本鍼灸臨床文献学会学術大会)
平成6年11月	論文「『脈経』序の研究」 (『難経注解叢刊・脈経版本叢刊』脈経難経研究論文集所収、オリエント出版社)
平成7年3月	研究発表「玉冰注にみえる『中誥』について」 (第3回日本鍼灸臨床文献学会学術大会)
平成7年7月	エッセイ「閑居堂不善録」(革面山人 燕雀) (会報「経絡治療東北」第10号より14号まで前5回)
平成8年3月	研究発表「『難経集注』における楊注について」 (第4回日本鍼灸臨床文献学会学術大会)
平成8年4月	手記「鍼灸入門不始末記」 (会報「経絡治療東北」第12号より15号まで全4回)
平成9年11月	研究発表「『医学綱目』の鍼灸」 (「鍼灸考'97 in Kyoto」日本鍼灸研究会主催；第5回日本鍼灸臨床文献学会学術大会に準じる)
平成10年11月	研究発表「『難経集注』の丁注について」 (第6回日本鍼灸臨床文献学会学術大会)
平成11年2月	研究発表「『明堂経』系文献における書誌学的考察」 (第14回経絡治療学会学術総会鹿児島大会)
平成11年11月	研究発表「『難経集注』の虞注について」 (第7回日本鍼灸臨床文献学会学術大会)
平成12年10月	研究発表「『千金翼方』の鍼灸」 (第28回日本伝統鍼灸学会学術大会)

平成 12 年 11 月	研究発表「『甄権鍼経』について」 (第 8 回日本鍼灸臨床文献学会学術大会)
平成 13 年 11 月	研究発表「『中誥』について(続報)」 (第 9 回日本鍼灸臨床文献学会学術大会)
平成 14 年 3 月	研究発表「補寫について」 (第 17 回経絡治療学会学術大会京都大会)
平成 14 年 11 月	研究発表「血脈考」 (第 10 回日本鍼灸臨床文献学会学術大会)
平成 14 年 11 月	小論「祖脈について」 (『経絡治療』誌第 151 号)
平成 15 年 3 月	論文「補寫について」 (『季刊内経』No.150 ; 日本内経医学会)
平成 15 年 5 月	論文「六部定位脉診について—その 1—」 (『経絡治療』誌第 153 号)
平成 15 年 8 月	論文「六部定位脉診について—その 2—」 (『経絡治療』誌第 154 号)
平成 15 年 10 月	研究発表「『鍼灸甲乙経』卷三と骨度」 (第 31 回日本伝統鍼灸学会学術大会)
平成 15 年 11 月	研究発表「『素問』王冰注と経絡」 (第 11 回日本鍼灸臨床文献学会学術大会)
平成 15 年 12 月	対論「浦山と宮川の往復書簡(その 1)」 (『季刊内経』No.153 ; 日本内経医学会)
平成 16 年 1 月	「『難経集註』について」 (宮澤正順博士古希記念『東洋—比較文化論集—』所収 ; 青史社)
平成 16 年 1 月	対論「浦山と宮川の往復書簡(その 2)」 (『季刊内経』No.154 ; 日本内経医学会)
平成 16 年 6 月	実技発表「『脉経』の経絡治療と「六鬱」の太極療法」 (第 53 回(社)全日本鍼灸学会千葉大会 ; 実技セッション「生活指導を取り入れた鍼灸」)
平成 16 年 6 月	座談会司会「気に迫る鍼灸」 (第 53 回(社)全日本鍼灸学会千葉大会 ; 実技ディスカッション)
平成 16 年 9 月	巻頭座談会「経穴標準化の作業から見えてくるもの—第二次日本経穴委員会の経穴標準化作業部会の活動が始まって—」 (『医道の日本』誌 2004 年 9 月号掲載 ; 医道の日本社)
平成 16 年 10 月	小論「メーリング委員会」 (『医道の日本』誌 2004 年 10 月号掲載 ; 第二次日本経穴委員会便り 3 ; 医道の日本社)

平成 16 年 10 月	シンポジウム発表「孔穴部位検討の視点—歴史的検討—」 (第 32 回日本伝統鍼灸学会学術大会；シンポジウム「孔穴を考える」)
平成 16 年 11 月	国際会議報告「第 3 回国際経穴部位標準化に関する非公式諮問会議報告」 (『全日本鍼灸学会誌』第 54 巻 5 号；第二次日本経穴委員会作業部会形井秀一他)
平成 16 年 11 月	研究発表「四時五蔵の脈」 (第 12 回日本鍼灸臨床文献学会改め日本鍼灸史学会学術大会)
平成 16 年 12 月	国際会議報告「Ⅱ. 経穴標準化のための事前の検討、そして、京都での検討会議」 (『医道の日本』誌 2004 年 12 月号所載；第 3 回国際経穴部位標準化に関する非公式諮問会議報告)
平成 17 年 5 月	論文「孔穴を考える」 (『伝統鍼灸』誌通巻第 56 号所収；日本伝統鍼灸学会誌)
平成 17 年 6 月	小論「日本人は脚が短い？」 (『医道の日本』誌 2005 年 6 月号所載；第二次日本経穴委員会便り 11；医道の日本社)
平成 17 年 6 月	国際会議報告「Ⅱ. 会議の内容について」 (『医道の日本』誌 2005 年 6 月号所載；第二次日本経穴委員会作業部会「第 4 回国際経穴標準化に関する非公式諮問会議報告」；医道の日本社)
平成 17 年 6 月	ワークショップ発表「WHO の経穴部位国際標準化会議の経過と協議内容について—標準化の経緯および今後—」 (第 54 回 (社) 全日本鍼灸学会福岡大会；第二次日本経穴委員会作業部会形井秀一他)
平成 17 年 8 月	国際会議報告「第 4 回国際経穴標準化に関する非公式諮問会議報告」 (『全日本鍼灸学会誌』第 55 巻 4 号；第二次日本経穴委員会作業部会形井秀一他)
平成 17 年 9 月	巻頭座談会「脈診再考 2005」 (『医道の日本』誌 2005 年 9 月号所載；医道の日本社)
平成 17 年 10 月	国際会議報告「WHO 経穴部位国際標準化会議の経過報告」 (第 1 回 (社) 日本鍼灸師会全国大会；第二次日本経穴委員会活動報告)
平成 17 年 10 月	シンポジウム発表「『内経』から見る「経絡」」 (第 33 回日本伝統鍼灸学会学術大会；テーマシンポジウム「経絡とは何か—『靈枢』経脈篇をめぐって—」)
平成 17 年 11 月	国際会議報告「Ⅴ. 未決定穴と未討論穴」 (『医道の日本』誌 2005 年 11 月号所載；第二次日本経穴委員会作業部会「第 5 回国際経穴標準化に関する非公式諮問会議報告」；医道の日本社)
平成 17 年 11 月	国際会議報告「Ⅳ. 経穴部位国際標準化会議における協議内容についての報告—問題となった主な経穴部位と検討結果—」 (『全日本鍼灸学会誌』第 55 巻 5 号；「WHO 経穴部位国際標準化に関する非公式諮問会議の経緯と検討内容について」第二次日本経穴委員会)

平成 17 年 11 月	研究発表「四時五蔵の脈（第 2 報）」 （第 13 回日本鍼灸史学会学術大会）
平成 17 年 12 月	巻頭座談会「『鍼灸大成』と『鍼灸聚英』～古典研究はサスペンスドラマ～」 （『医道の日本』誌 2005 年 12 月号所載；医道の日本社）
平成 18 年 1 月	新年の言葉「世界最大最高の鍼灸書」 （『医道の日本』誌 2006 年 1 月号所載；医道の日本社）
平成 18 年 2 月	小論「養老穴について」 （『医道の日本』誌 2006 年 2 月号所載；第二次日本経穴委員会便り 18；医道の日本社）
平成 18 年 3 月	シンポジウム発表「経絡治療にとって鍼灸古典は必要か」 （第 21 回経絡治療学会学術大会 福山大会；テーマシンポジウム「古典医術の必要性と継承」）
平成 18 年 5 月	実技講演「効果のある鍼灸治療（腰痛編）・経絡治療」 （（社）全日本鍼灸学会 京都地方会 第 25 回学術講演会）
平成 18 年 6 月	ワークショップ発表「WHOの目指すものと経穴部位標準化委員会の活動の経緯と展望・標準化案の注目経穴Ⅱ」 （第 55 回（社）全日本鍼灸学会学術大会 金沢大会 ワークショップ③）
平成 18 年 6 月	シンポジウム発表「経穴位置決定の基準を問う—例えば大椎について—①大椎の位置に関する歴史的経緯」 （第 55 回（社）全日本鍼灸学会学術大会 金沢大会 シンポジウム③）
平成 18 年 6 月	講演「第二次日本経穴委員会作業部会と第 4 回 WHO 経穴部位国際標準化に関する非公式諮問会議の報告」 （（社）全日本鍼灸学会 宮城地方会）
平成 18 年 7 月	講演「腰痛症の鍼灸治療」 （第 2 回（社）宮城県鍼灸師会 学術研修会）
平成 18 年 8 月	インタビュー「使わない経穴。こんなにつぼは必要か？」 （『医道の日本』誌 2006 年 8 月号所載；業界にまつわる あんな疑問 こんな疑問 第 7 回；医道の日本社）
平成 18 年 10 月	国際会議報告「WHO 経穴部位国際標準化会議の経過報告」 （第 2 回（社）日本鍼灸師会全国大会 東京大会；第二次日本経穴委員会活動報告）
平成 18 年 11 月	小論「〈つくば会議〉始まる」 （『医道の日本』誌 2006 年 11 月号所載；第二次日本経穴委員会便り 26 回；医道の日本社）
平成 18 年 11 月	講演「WHO つくば会議報告（WHO 国際経穴部位標準化公式会議の概要と内容）」 （（社）山口県鍼灸師会 平成 18 年度後期学術講習会）
平成 18 年 11 月	実技講演「日々の臨床から」 （（社）山口県鍼灸師会 平成 18 年度後期学術講習会）

平成 18 年 11 月	研究発表「『外台秘要方』の鍼灸」 (第 14 回日本鍼灸史学会 学術大会)
平成 18 年 12 月	会議報告「会議で問題となった内容についてのトピックスと考え方」 (『医道の日本』誌 2006 年 12 月号所載；「361 穴、すべて合意へ！(WHO 経穴部位国際標準化公式会議報告)」；医道の日本社)
平成 19 年 1 月	新年の言葉「終而復始」 (『医道の日本』誌 2007 年 1 月号所載；医道の日本社)
平成 19 年 1 月	「新春放談」 (会報『山口鍼灸友』1 月号所載：(社) 山口県鍼灸師会)
平成 19 年 2 月	座談会「臨床家にとって経穴とは何か～WHO における経穴標準化をうけて～」 (『医道の日本』誌 2007 年 2 月号所載；医道の日本社)
平成 19 年 2 月	座談会「鍼灸医学古典を愉しむ」 (『鍼灸 OSAKA』84 号：森之宮医療学園出版部)
平成 19 年 6 月	「ケアテントにおける感染予防対策」 (平成 19 年度「鍼灸安全リスク・マネジメント」研修会)
平成 19 年 6 月	小論「五臓の兪募穴と五行」 (『医道の日本』誌 2007 年 6 月号所載；第二次日本経穴委員会便り 32 回；医道の日本社)
平成 19 年 6 月	ワークショップ発表「標準化経穴部位と今後の動きについて(経穴部位決定の概 括 - 2 -)・難解経穴の解説」 (第 56 回 (社) 全日本鍼灸学会学術大会 倉敷大会 ワークショップ③)
平成 19 年 7 月	講演「WHO 標準化会議の概要と注目経穴」 ((社) 福島県鍼灸師会夏季学術講習会；郡山市民文化センター 第 3 会議室)
平成 19 年 9 月	論文「古典医書に見える妊娠期の諸症状と鍼灸」 (『医道の日本』誌 2007 年 9 月号所載；特集・妊娠と鍼灸⑤；医道の日本社)
平成 19 年 11 月	座談会「肝虚の病証 (vol.1)」 (『経絡治療』no.171：経絡治療学会)
平成 19 年 11 月	研究発表「『医心方』の鍼灸」 (第 15 回日本鍼灸史学会 学術大会)
平成 19 年 12 月	小論「経脈の順序」 (『医道の日本』誌 2007 年 12 月号所載；第二次日本経穴委員会便り 38 回；医道の日本社)
平成 20 年 1 月	新年の言葉「(無題)」 (『医道の日本』誌 2008 年 1 月号所載；医道の日本社)
平成 20 年 2 月	座談会「肝虚の病証 (vol.2)」 (『経絡治療』no.172：経絡治療学会)

平成 20 年 5 月	小論「臂臑と臑会」 (『医道の日本』誌 2008 年 5 月号掲載；第二次日本経穴委員会便り 43 回；医道の日本社)
平成 20 年 5 月	講演会・報告「内容解説 2」 (WHO/WPRO 『標準経穴部位』英文公式版発刊記念講演会：第二次経穴委員会主催)
平成 20 年 6 月	講演「鍼灸医療事故、有害事象対策」 (平成 20 年度鍼灸安全リスクマネジメント研修)
平成 20 年 11 月	特別研究発表「古典に学ぶ手の役割—特に左手に注目して—」 (第 36 回日本伝統鍼灸学会学術大会)
平成 20 年 11 月	研究発表「『太平聖恵方』の鍼灸」 (第 16 回日本鍼灸史学会 学術大会)
平成 21 年 1 月	新年の言葉「ST35」 (『医道の日本』2009 年 1 月号、医道の日本社)
平成 21 年 2 月	新年の言葉「耳寄りな話」 (『経絡治療』2009 年 176 号、経絡治療学会)
平成 21 年 2 月	新年の挨拶「丑年に因んで」 (社団法人宮城県鍼灸師会会報『鍼灸みやぎ』77 号、社団法人宮城県鍼灸師会)
平成 21 年 2 月	国際ワークショップ発表「Location of Extra Meridian Points」 (研究会議「鍼灸の発展を考える会議 in つくば」、筑波技術大学)
平成 21 年 3 月	論文「古典に学ぶ手の役割—特に左手に注目して—」 (『伝統鍼灸』誌第 35 巻第 2 号(通巻 64 号)、日本伝統鍼灸学会)
平成 21 年 5 月	発表「A trial of Traditional Evidence Based Acupuncture — making a point of Ex-B7 —」 (中国・Workshop on International Standardization of Acupuncture and International Textbook of Acupuncture、中国中医科学院 鍼灸研究所)
平成 21 年 8 月	座談会「第二次日本経穴委員会、5 年間の活動を振り返り、今後を考える—WHO/WPRO 経穴標準化作業を通して見えてきた課題—」 (第二次日本経穴委員会、『医道の日本』誌 2009 年 8 月号、医道の日本社)
平成 21 年 8 月	座談会「『日本鍼灸医学(経絡治療)・経穴篇』について」 (『経絡治療』誌 2009 年 178 号、経絡治療学会)
平成 21 年 8 月	投稿論文「論伝統循証鍼灸医学—以腰眼穴為例」 (世界鍼灸学会連合会ホームページ《学術前沿》、世界鍼灸学会連合会)
平成 21 年 10 月	シンポジウム発表「TEBA (Traditional Evidence Based Acupuncture) のすすめ」 (医第 37 回日本伝統鍼灸学会大阪大会、テーマシンポジウム「日本伝統鍼灸臨床家に求められる資質(臨床能力)」、日本伝統鍼灸学会)

平成 21 年 11 月	書評 「素霊は「古典に還れ」とは言わなかった？」 (針灸ジャーナル第 11 号、『柳谷素霊に還れー足跡、思想を通して昭和鍼灸を考察するー』、緑書房)
平成 21 年 11 月	シンポジウム発表「古代人の「触れる」とは？」 (第 28 回関東支部集会、シンポジウム「触れる」、全日本鍼灸学会関東支部)
平成 22 年 1 月	新年の言葉「とら年の穴」 (医道の日本』2010 年 1 月号、医道の日本社)
平成 22 年 2 月	新年の言葉「(無題)」 (『経絡治療』2009 年 180 号、経絡治療学会)
平成 22 年 2 月	新年の挨拶「活動報告」 (社団法人宮城県鍼灸師会会報『鍼灸みやぎ』78 号、社団法人宮城県鍼灸師会)
平成 22 年 3 月	投稿論文「〈LI4 (合谷)〉の歴史とその臨床応用について」 (赤門鍼灸柔整専門学校同窓会誌『赤門』、赤門鍼灸柔整専門学校同窓会)
平成 22 年 3 月	シンポジウム発表「脈状診と病証について」 (第 25 回経絡治療学会学術大会東北大会、シンポジウム「脈診と臨床」、経絡治療学会)
平成 22 年 10 月	特別研究発表「内経の診察・診断・治療」 (第 38 回日本伝統鍼灸学会学術大会福岡大会、日本伝統鍼灸学会)
平成 23 年 1 月	研究発表「『続添要穴集』について」 (第 1 回日本鍼灸医学史研究発表会)